

全国サバ養殖フォーラムアンケート結果

今後の勉強会運営や当機構が行っている研究開発の参考とするため、アンケートを実施いたしました。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。
結果を集計しましたので、ご参考までに掲載いたします（回答数35）。

議事次第：（敬称略）

基調講演 1：長崎ハープ鯖の取り組み～黎明期の挑戦～
基調講演 2：マサバの養殖技術開発とその課題

ケンソウ・ネットワーク・オフィス 代表 田中 憲壯
国立大学法人宮崎大学 教授 長野 直樹

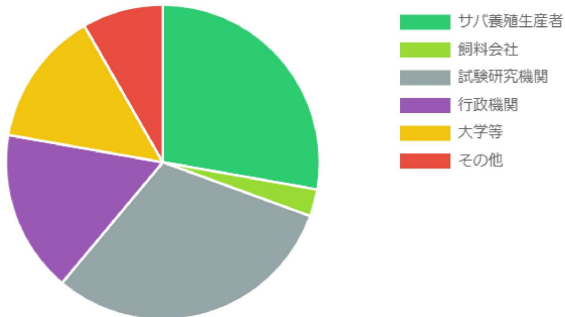
課題発表：

網代漁業株式会社 係長 山村 豊
株式会社大三世 社長 三藤 康之
一般社団法人鯖協会 代表 小林 崇亮
西日本旅客鉄道株式会社 課長 吉村 忠男
公立大学法人福井県立大学 准教授 田原 大輔
有限会社友栄水産 社長 橋本 純

パネルディスカッション

コーディネーター：田鳥水産株式会社 代表取締役 横山 拓也

回答者の所属機関の種別



基調講演 1 についてのご意見など

- » 販売努力の重要性がよく分かった
 - » 次回は生産技術に関する情報をお聞きしたい
 - » 資料を配付して欲しかった
 - » 現場における問題点が良く理解できた
 - » 漁船漁業と養殖業の双方に魅力的だと感じた
- など

基調講演 2 についてのご意見など

- » 人工種苗生産技術について具体的なお話が聞け、とても参考になった
 - » 人工種苗のニーズが大きいと感じた
 - » 人工種苗生産技術について、より深い話を聞きたい
 - » 今後、人工種苗と天然種苗の比較が必要
 - » 低価格飼料の情報も有意義だった
- など

課題発表についてのご意見等

- » 様々な立場から、サバ養殖に関する情報を聞くことができて参考になった
 - » 各養殖場の取り組みや課題とそれに対する建設的な意見が聞けてとても良かった
 - » 種苗の移送に伴うアニサキス生息域の変化について調べて欲しい
 - » サバ同様、天然種苗を利用した多品種少量養殖の可能性や如何
 - » 時間がやや足りなかった
- など

その他ご意見等

- » 共通の課題も多く、関係者が連携して対応できれば心強い
- » 連携強化のため、このような会議を継続して欲しい

»アニサキスについて、分類や分布、食中毒発生時の責任の所在、損失など整理・研究して欲しい

»参加者を交えた意見交換の場があれば良かった

»会場がやや狭かった

など

〒236-8648 横浜市金沢区福浦2-12-4

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門 研究開発プラットフォーム事務局

TEL 045-788-7966（事務局直通）

メール：fra-sharen@ml.affrc.go.jp（@は半角に直してください）

Copyright 2020 National Research and Development Agency, Japan Fisheries Research and Education Agency All Rights Reserved / Disclaimer

本資料の著作権は水産研究・教育機構に帰属しています。本資料を当機構の許可無く無断で利用することは禁じます。